

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/05/16号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

乱高下続くも、中国リスク織り込みに一服感

NY原油先物相場は、1バレル=98.20ドルまで下落した後、110ドル台まで切り返す荒れた展開が続いた。週前半は新型コロナウイルスの感染被害が続く中国の需要不安を背景に、戻り売り優勢の展開になった。欧州連合（EU）のロシア産原油禁輸案がハンガリーの反対で成立しないこと、株安・ドル高環境も上値を圧迫した。しかし、週後半は改めて供給不安を織り込む動きが優勢になり、安値から10ドル超の急伸地合を形成した。ガソリン先物相場は、改めて過去最高値を更新している。

「供給不安」と「需要不安」が交錯する不安定な地合が続いているが、やや「供給不安」の織り込みの方が優勢になっている。中国の需要に対する不信感が強くなっていたが、その中国で新型コロナウイルスの新規感染者数が明確な減少傾向にあり、最悪期を脱したとの見方が浮上している。まだ行動規制の解除には慎重姿勢が続いているが、鉄鉱石や非鉄金属市場でも需要不安を織り込む動きに一服感が浮上し始めている。中国政府は景気対策にも意欲を見せており、「需要不安」の評価が大きく変わっている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（5月6日時点）は、原油が前週比849万バレル増、ガソリンが361万バレル減、石油精製品が91万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

中国の需要不安が緩和されると、供給不安の織り込み優勢に

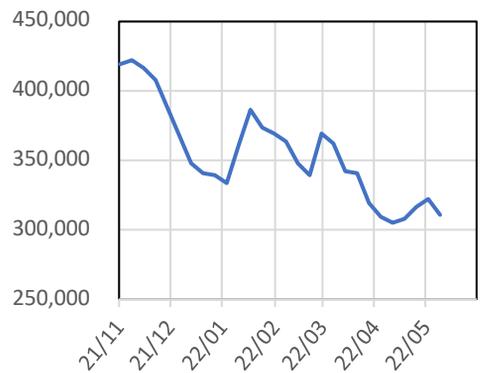
「供給不安」と「需要不安」が交錯する展開が続いており、3週連続で1週間の値幅が10ドルを超えている。このため不安定な地合が続き易いが、このまま中国の需要不安が緩和されると、時間の経過とともにロシア産の供給不安が強まることで、原油価格には上振れ圧力が強まり易くなる。慎重に110ドル台定着から一段高を打診する展開になろう。

国際エネルギー機関（IEA）の5月月報では、ロシア産輸出の減少幅が5月の日量160万バレルから7月以降は300万バレル近くにまで拡大するとの見通しを示した。また、備蓄能力の増強がなければ、生産調整が一段と活発化するとの見通しも示した。EUのロシア産禁輸を巡る議論は、ハンガリーが現在の制裁案は実現不可能と難色を示しているが、いずれにしても石炭に続いて石油分野でも「脱ロシア」の実現を急ぐことになる。欧州委員会は引き続き禁輸案の取りまとめにも意欲を示しており、供給サイドからの需給引き締め圧力は時間の経過とともに強化される見通しにある。

IEAは、ロシア産の供給減少でも、需要環境の悪化、石油輸出国機構（OPEC）プラスが段階的な増産を続けていることなどを理由に、深刻な供給不足に陥ることは回避できる可能性を指摘している。しかし、マーケットでは中国の需要環境に対する信頼感の回復もあって、需給ひっ迫化に対して強い警戒感を示している。特に、ロシア産の供給減少で原油よりも石油製品需給に大きな混乱が見られ、石油製品相場主導の上昇リスクも想定しておく必要性が高まっている。

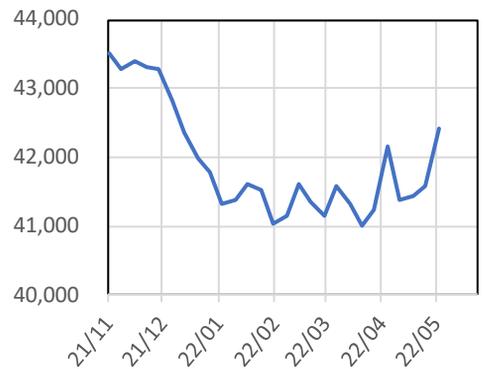
一方、不安定化する株価環境、ドル高圧力が継続していること、米経済にも減速懸念が浮上していることが、下振れリスクになる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



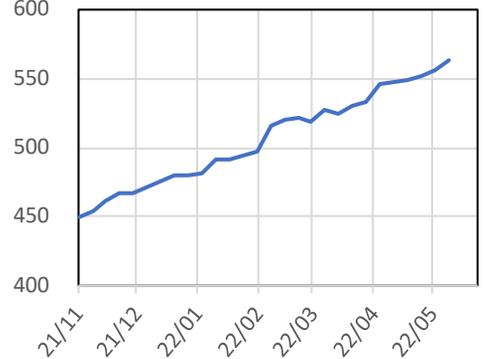
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

